

# 2025年度 前期教育計画

面接指導施設名		科学技術学園高等学校			
教科	科目	単位数	標準単位数	学習期間	担当者
理科	化学基礎	2	2	半期	本校教員・スクーリング講師
教科書名		出版社	学習書		
高等学校 新化学基礎		第一学習社	科技高 学習書 化学基礎		
指導目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解する。</li> <li>・物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>					
レポート(添削指導)	全 6 回	定期試験	あり	年間・学期	1 回
スクーリング	全実施時間数 12 時間	定期試験の評価割合	70 %		
	標準面接時数 8 時間	評定算出方法	評点が100～85点は5、84～70点は4、69～50点は3、49～35点は2、34～0点は1		
回数	日付	スクーリング 単元・学習内容	レポート 提出期限	回数	高校通信教育講座(コンテンツ視聴) 単元・学習内容
1	4/16	物質の分離	第1回	1	身近にある物質の分離
2	4/19	物質を構成する元素、元素の確認		2	周期表のポイントをおさえよう
3	5/18	物質の三態、原子のなりたち、同位体とその利用	第2回	3	学習のまとめ①
4	5/21	原子の電子配置、元素の周期律と周期表		4	金属の利用
5	5/31	イオン、イオン結合、イオンからなる物質	第3回	5	化学結合と結晶のまとめ
6	6/7	共有結合、分子の極性、分子間に働く力、分子からなる物質 共有結合の結晶、金属結合と金属結晶		6	学習のまとめ②
7	6/15	原子量、分子量、式量、物質量と粒子の個数、質量、 気体の体積	第4回	7	物質量の計算のポイントを押さえる
8	6/28	溶解と濃度、化学反応式、化学反応式と量的関係		8	化学反応式の量的関係のポイント
9	7/9	酸と塩基、酸・塩基の強弱、水素イオン濃度とpH、pHの測定	第5回	9	学習のまとめ③
10	7/12	中和と塩、中和の量的関係、中和滴定、中和滴定曲線		10	化学反応式と熱の出入り
11	7/20	酸化と還元、酸化数、酸化剤と還元剤	第6回	11	学習のまとめ④
12	7/26	金属のイオン化傾向、金属の反応性、電池、電気分解		12	身のまわりにある酸と塩基
13				13	学習のまとめ⑤
14				14	酸化還元反応の利用
15				15	実用電池
16				16	学習のまとめ⑥
17				17	
18				18	
19				19	
20				20	
21				21	
22				22	
23				23	
24				24	
25				25	

《留意事項》

- ・スクーリングには教科書または学習書を必ず持参すること。
- ・実験器具、ICT機器、映像資料等を用いてより効率的に学習を進める。